



## ケガの原因4：ぶつかる

～「大人」と「子ども」と「乳幼児」で多く発生しています～

### 1 実際の事故事例

#### 高齢者 【65歳以上】

- 駅のエレベーターから降りる際に、他の乗客とぶつかり、頭をケガした
- テレビ台に額をぶつけ、頭をケガした
- バランスを崩し、冷蔵庫に後頭部をぶつけケガした

#### 大人 【18歳～65歳未満】

- 浴室で足を滑らせ、頭を浴槽の角にぶつけケガをした
- 飲酒后、帰宅途上に転倒し、電柱に顔と頭をぶつけケガした
- 出窓に頭をぶつけケガした

#### 子ども 【7歳～18歳未満】

- 校舎の曲がり角で生徒同士がぶつかり、顔をケガした
- 自宅内で走っていて転倒し、机の角に頭をぶつけケガした
- 滑り台の角に頭をぶつけケガした
- 屋外で転倒し、花壇の角に顔をぶつけ、まぶたをケガした



#### 乳幼児等【0歳～7歳未満】

- テーブルの角に頭をぶつけケガをした
- 自宅内で走っていて、テレビ台の角に頭をぶつけケガをした
- 窓枠に顔面をぶつけ、まぶたをケガした

### 2 予防と対策

#### ☆周囲へ注意を

- 歩行中や、スポーツの際等、不注意により物や人にぶつかりケガをすることがあります。周りに注意をして行動するように心掛けましょう。

#### ☆ぶつからない環境づくり

- ぶつからないような家具の配置、ぶつかりそうな場所に注意を払うための目印、ミラーやガードの設置をするなど工夫をしましょう。

#### ☆家具の角に防止策

- ぶつかった際の衝撃を小さくするため、家具の角にクッションを付けましょう。

**ぶつかる事故は、直接物にぶつかるケースと、バランスを崩すことによりぶつかるケースがあります。どちらも注意をする「心がけ」と、「対策」により予防できる事故です。**

「予防救急」を始めましょう